

所内研修 「局長講話」「室長講話」

4月7日(月)に所内研修として知花賢正事務局長を講師に『局長講話』として「組合(私たちの職場)のはなし～市町村行政の一部を担う団体として～」、南部広域行政組合の一般廃棄物処理施設建設準備室の山城匡室長に『室長講話』として「南部は心は一つ～南部のごみ処理～」についてお話しいただきました。



写真1 局長講話



写真2 室長講話

【局長講話の概要】

- 1 南部広域行政組合とは
- 2 組合の組織及び事業等について
 - (1) 地方自治上の位置づけ
 - (2) 組合の組織
 - (3) 組合の事業
 - 一般廃棄物最終処分場の設置及び管理運営
 - ごみ処理広域化計画及び施設整備
 - 視聴覚ライブラリーの設置及び管理運営
 - 島尻教育研究所の設置及び管理運営
 - (4) 組合の事業経費
- 3 組合を取り巻く状況と今後の点合い
 - (1) 南部圏域内の組織一元化(統合)
 - (2) 市町村に代わる受け皿も可能
- 4 島尻教育研究所の話

【室長講話の概要】

- 1 DVD(ごみ処理に関する)視聴
- 2 ごみ処理の歴史
- 3 南部地区の現在のごみ処理の課題について
- 4 最終処分場建設に向けた取組状況



教育研究員の感想

局長講話では、「行政と教育機関が一緒の建物にあるのかな?」「意図的な便利性があって1つの建物にいろいろな機関があるのかな?」と思うことが、南部広域行政組合を組織図で説明をしていただき、つながりがわかり、感動しました。市町村が、互いに足りない所を助け合いながら知恵を出し合っている組織に、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

私達、40期生も一男四女(一難四助)もそうやっていきたいです。

室長講話では、焼却炉の話(焼却炉から出る煙は、水蒸気。以前は300度だったが、現在は800度にする事で焼却残渣が減っている。温度を保つため、一日中動いている。等)や未来見据えた最終処分場のお話など、初めて知ることが多く驚きました。環境を大切にしていくことは、未来の子供達のためにつながると思います。今、私にできることは焼却残渣が減るような努力や他の人々に伝えていくことです。伝える努力をしていきたいと思ひます。

(金城睦子)